



東京ヘリポートハイジャック未然防止訓練

東京都東京ヘリポートでは、年に一回程度、空港施設における保安体制の再確認及び緊急事態発生時の対処方法など所轄警察署等と連携して保安訓練を実施しています。

今回は、11月29日（金）警視庁警備部、東京湾岸警察署及び東京消防庁城東消防署の協力のもと東京ヘリポートでは初となる「警備犬」を使用した訓練を実施しました。

概要及び訓練内容は以下のとおり

- 訓練名 平成25年度東京ヘリポートハイジャック未然防止訓練
- 日時 平成25年11月29日（金）AM11時～PM12時
- 場所 東京ヘリポートエプロン内センタースポット
- 主催 東京港管理事務所、警視庁東京湾岸警察署
- 協力 朝日航洋株式会社、東京消防庁城東消防署、株式会社エグゼクティブプロテクション
- 訓練内容 （1）警視庁警備犬の活動紹介（服従訓練、不審物検索訓練）
（2）東京ヘリポートハイジャック未然防止訓練

ハイジャック未然防止訓練の前に、本訓練の主役でもある警視庁警備部所属の「警備犬」「捜索犬」2頭によるデモンストレーションが行われました。



颯爽と障害物を乗り越える「警備犬」



写真手前「警備犬」 写真奥「捜索犬」



「捜索犬」による不審物検索デモの様子



「警備犬」による犯人制圧デモの様子

「警備犬、捜索犬」のデモンストレーションの後「東京ヘリポートハイジャック未然防止訓練」がスタートしました。

内容は、凶器を持った不審者2名がヘリポートエプロン内に入り、人質を盾に現金とヘリコプター、パイロットを要求し、「警察官」と「警備犬」が被疑者2名を制圧、逮捕というシナリオで訓練を行いました。何と言っても本訓練の目玉は、「警備犬」による被疑者制圧場面です。警備犬は、TVで一度見たことはありましたが、自分の目の前で見るのは初めてでしたので、内心ドキドキしながら見ていました。また、今回は委託業務を行っている警備会社職員が訓練に参加し、警察官と連携して犯人を制圧しました。

なお、犯人役としてご協力いただいた2名の警察官は、迫真の演技と容姿でプロの方に勝るとも劣らない迫力で見学者も緊張した趣きで観覧していました。主役の「警備犬」も訓練の成果を発揮するべく、想像以上の俊敏な動きで、見学者から歓声が起りました。犯人2名を逮捕後、持っていた爆発物の入ったバッグを防爆処理するため、警察官が防爆マットを敷いて、訓練が終了しました。

東京ヘリポートでは、今後ともこのような訓練の機会を通して、事業者と緊急事態発生時の対応について、共通認識を深めるとともに警察等との連携強化をより一層深め、ハイジャックやテロの防止に努めていきたいと考えています。



①犯人と人質を乗せた車両を強制停車させる警備隊



②人質を盾に拳銃や刃物で威嚇する犯人役



③犯人(A)へ飛び掛る「警備犬」



④警備員が刺又で犯人(B)の制圧に協力



⑥犯人が持っていた爆発物に防爆マットを敷く警察官



⑤警察官に逮捕され、連行される犯人



訓練終了後、参加者全員で記念撮影